

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 貝増

会議名: 令和4年度 第6回玉津学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時: 令和4年9月5日(月)10時から11時30分まで

場所: 玉津会館2階 学習室1

出席者: 部会員9名、事務局1名

議題

1. 玉津で語り継ぐ地域の生活・民俗について

会議要旨

内容

1. 協議事項

(1) 玉津小学校での語り部の当番の調整について

- ・玉津小学校の語り部は、9月9日はステージ1のため実施する。

(2) 玉津に残る生活様式や民俗について

・守山市誌（生活・民俗編）にも掲載されているが、玉津には、「どっこいしょ」、「種池」等がある。「どっこいしょ」も少なくなっているが、赤野井には現存する。「種池」は、粃種をつけるためにあったことからこう呼ばれる。（1週間くらいつけ、芽だしさせる）赤野井に1か所現存する。

また、「かわと」（家の中に水を引き入れて生活に利用していた）は、矢島にはなく、家の建て替え時に無くなったものと考えられる。（五箇荘には現存する）

「ガッチャンポンプ」も、どの家庭にも見られたが、水道の普及により、一般家庭で使用されることが少なくなってきたが、（地球市民の森に現存）阪神淡路大震災以降、ガッチャンポンプが見直されるようになってきている。

現在では、蛇口を捻れば、きれいな水道水が出てくるが、これまでの生活において水をどのように得ていたのか、どのように生活で利用していたのかは、現代の小学生などにも知っておいてもらうべきことであり、また、災害の多い現代で、ライフラインの寸断で、それらの価値が見直されていることも語り部の観点から、語っていく必要があるとの考えでまとまった。

(3) その他

・館外研修は、東海道五十三次の内の関宿において実施する。47番目の宿場町として、参勤交代や伊勢参りの人々で賑わった。唯一歴史的な町並みが残ることから昭和59年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。我々の学区においても、大庄屋諏訪家屋敷や矢島御所跡等多くの歴史遺産がある中で、町並みの保存とガイドによる町並みの案内を体験することで、玉津の歴史を語り継ぐための活動の参考とする。歴史伝統文化部会と合同で研修を計画した。研修候補日は11月25日とする。

決定事項

次回以降について

- ・生活・民俗・歴史にまつわる地域に残っているものの中で、「暮らしと水」をテーマにまとめていく。
- ・次回会議 10月3日 10時から